

九州ネット

8月8日
第4号

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

宮崎県開催<チキン南蛮ラウンド> H25.8.3(Sat) in 宮崎市中央公民館

2013 北部九州インターハイ、九州中学校体育大会が九州各県で開催されており、参加者が少ないのでは・・・と心配されましたが、H25チキン南蛮ラウンドには、**37名**の会員が集まり開催することができました。

“九州の陸の孤島（九州の右側）宮崎”に、県外からも多く集まっていただきまして大変感謝しております。

ちなみに過去最高の参加者数でした。【H23：29名、H24：31名】

1 ステージ1 学習指導案作成のポイント

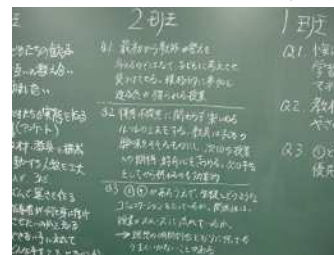
宮崎県 萩尾英司 副主幹から、学習指導案作成について、年間指導計画をみること、指導内容を決めること、単元計画のデザインの3つの柱で説明がありました。

参加者からは、「学習指導案作成について、じっくり説明を聞くこともなかったのでよい機会でした」「学習指導案を作成する段階にならないと、真剣に考えないので初めて向き合いました」という声が聞かれました。

国の調査研究協力者のひとりでもあった萩尾さんから、『2年間での指導と評価』『指導と評価の機会設定の仕方』などきめ細かな話もあり、37枚のスライドと中・高の指導案例は貴重な資料となりました。

2 ステージ2 授業参観のポイント

ステージ1を踏まえて、授業のどこに着目するか？ グループ協議を行いました。



その後、黒板に班ごとにまとめていただきました。

よい授業とは？

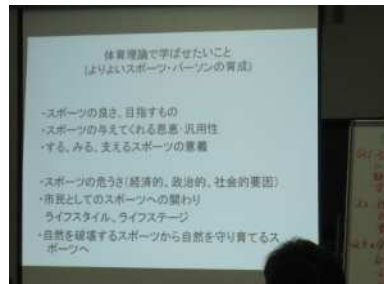
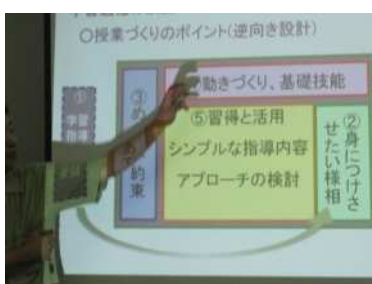
悔し泣きが出る、生徒がよく動く、子どもの歓声が響く授業
マネージメントができている授業
最初から答えを与えるのではなく、子どもたちに考えさせ見付けさせる授業
お互いに教え合い、励まし合える授業
運動量が十分確保されている授業
子どもの変化が見える授業
何を教えたいか、何が課題か明確な授業

そのための学習活動は？

教材や教具を用いて、易しいルールやかみくだいた内容にする工夫
得意、不得意に関わらず楽しめるようにルールを工夫する
子どもの実態を把握して教材や教具などを構成する
活動する人数、活動しやすい場を工夫する
次回の期待をもたせて授業を終わる
子どもが「できそう」と感じる課題を設定する
教育機器の活用、掲示物の充実など視覚に訴える

3 ステージ3 授業参観のポイント

「楽しい体育理論の授業をつくろう」増刷決定記念として・・・、佐藤先生から「体育理論」の情報提供と今日のまとめをしていただきました。



昨年のシンポジウムでも御教授いただきました高橋健夫先生が7月16日に御永眠されました。

会のはじめに黙祷を捧げました。

生前の御厚誼に感謝申し上げます。